

平成 26 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	保険医療課
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	1. 高齢者の安心な暮らし支援
分野別方針	(5)保健サービスの充実
実施計画事業	1)保健サービス推進事業(No.6)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	健康増進推進事業(健康診査保健指導)	74.9%	A
02	健康診査事業	80.9%	B
03	健康診査事業(後期高齢)	—	A
04	予防接種事業	75.7%	B
05	特定健診等事業	97.1%	B
06	自殺予防推進事業	100.0%	B
課題 (箇条書き)	個人の健康に対する意識づくりが必要 的確な情報の発信を心がけていく		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	説明	健康づくりは様々なライフステージにあわせ各年代にあった取組みが必要である。町民の健康の保持・増進に向け保健指導、健診を引き続き実施していく

方向性							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	健康に対する意識を高めていくため啓発を継続していく。又関係医療機関等と連携を密にして町民の健康増進を推進していく。						

◎評価者[担当主管部長]							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	病気の重症化を防ぐ、あるいは未病の段階で治していく手段として、健康診査やその後の保健指導等は大変有効である。今後も健診の未受診者への勧奨などにも力を入れながら、事業を進めていくことで、町民の健康増進や医療費の抑制を目指していく必要があると思う。また、自殺予防のため、引き続きゲートキーパーの養成を行う必要を感じている。						